

事業所名

療育ケアMARINE RAINBOW 本山

支援プログラム

作成日

令和6年

8月

30日

事業所理念		児童様が安全に、保護者様は安心して預けられ、児童様が主体となりみんなが輝ける事業所を作っていく。		
支援方針		お一人お一人の個性を尊重して、児童様に合わせた環境調整・職員の対応方法統一により、児童様全員が輝くことのできる支援を目指して取り組んでいく。		
営業時間		平日：9:30～18:30 学校休業日・祝日：8:30～17:30	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	今後、生活していくうえで、ADL（日常生活動作）は自立しているが、IADL（手段的日常生活動作）に課題を抱えている児童様もいらっしゃいます。そこで、自宅内で行える動作の練習（洗濯、掃除、携帯の使用方法）や屋外で行う練習（交通ルール、買い物、金銭管理）も活動や学休日の活動に取り入れて、真の自立を促しながら、ライフステージの切り替えを見据えた取り組みを行っています。		
	運動・感覚	小集団療育では、作業療法士の有資格者が監修した専門的な視点での活動を実施しています。体幹の能力の未発達部分や発達の遅れにより、長時間、同姿勢を保つことができず、学校での授業にも影響を及ぼしてしまうことも考えられるため、体幹筋（抗重力筋）を意識した療育の内容を取り入れています。		
	認知・行動	発達障がい等の診断を受けた児童様の中には、学習障がいの診断を受けていない児童様もいらっしゃいます。しかし、併発率も高く、隠れながらに学校の授業に苦手意識のある児童様も少なくありません。そこで、児童様自身への聞き取りや評価を行い、どのような方法であれば学習に取り組みやすく、苦手を克服していけるかを模索しています。また、各児童様への学習支援ツールの作成や環境調整も行い学習への合理的配慮を取り入れています。		
	言語 コミュニケーション	児童様同士の会話の中で自分の気持ちを伝えることが難しい児童様や言葉より行動が先行してしまう児童様もいらっしゃいます。そこで、小集団療育を通して語彙数を伸ばす、自分の気持ちをみんなの前で伝える・説明する力をつけるなど会話がスムーズになるために必要な取組を行える活動を中心に実施しています。		
	人間関係 社会性	児童様の中には他者との距離感に課題がある場合があります。そこで小集団療育を通して、身体図式を理解していくことを促しています。身体図式を理解していないと外界の物体と自分自身との距離感をつかめず、極端になってしまうことがあります。自分の体の動かし方を活動の中で学んでいくことで他者との距離感を適切に保つことができるようになって考えています。そのため、上記の内容を網羅した運動を取り入れています。		
家族支援		・日頃のご相談や定期的な保護者会を実施し、ご家庭での困り感をお聞きしながら、助言や事業所での取り組みに汎化させていきます。 ・保護者会に外部講師を招き研修を行います。	移行支援	・IADL（手段的日常生活動作）の獲得を目的とした支援を行い、ライフステージの切り替えを見据えた関わりを行っていきます。 →交通ルールやお買い物（お金の計算）、洗濯、料理、身の回りの管理等
地域支援・地域連携		・地域にある公共施設等を利用した外出活動等の実施	職員の質の向上	・事業所内での勉強会 ・ケースミーティング ・症例検討会 ・保護者会の研修への参加（外部研修）
主な行事等		お正月（三社参り）・節分・進級パーティー・こどもの日・夏祭り・クリスマス会等を実施予定です。		